



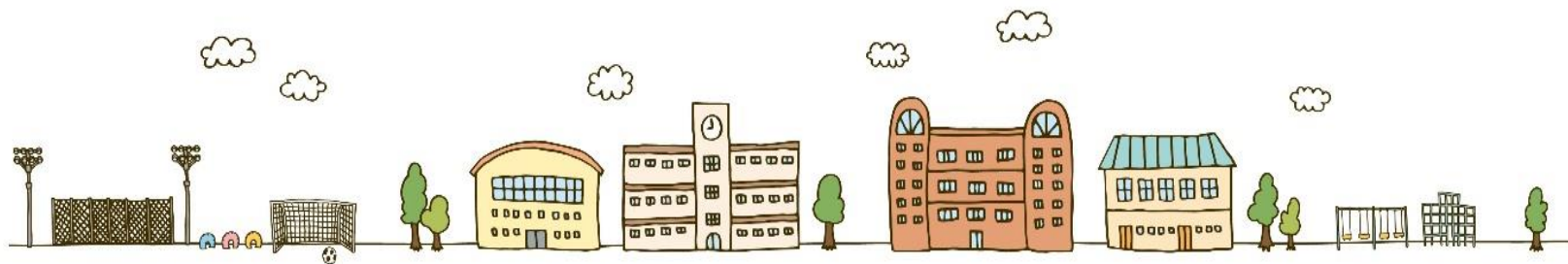
# 休校期間中や学校再開に向けてのSC の活動に活用可能な資料の紹介



協力

心理臨床学会支援活動委員会

災害、事件・事故後の子どもの心理支援研究会



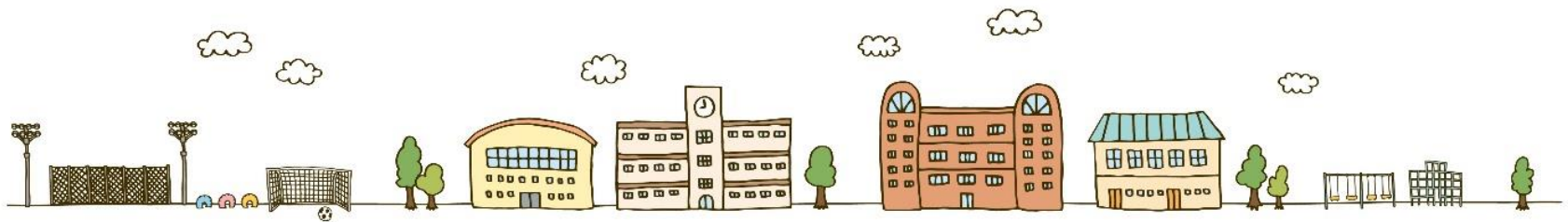
# 資料作成・収集 協力

## 心理臨床学会支援活動委員会

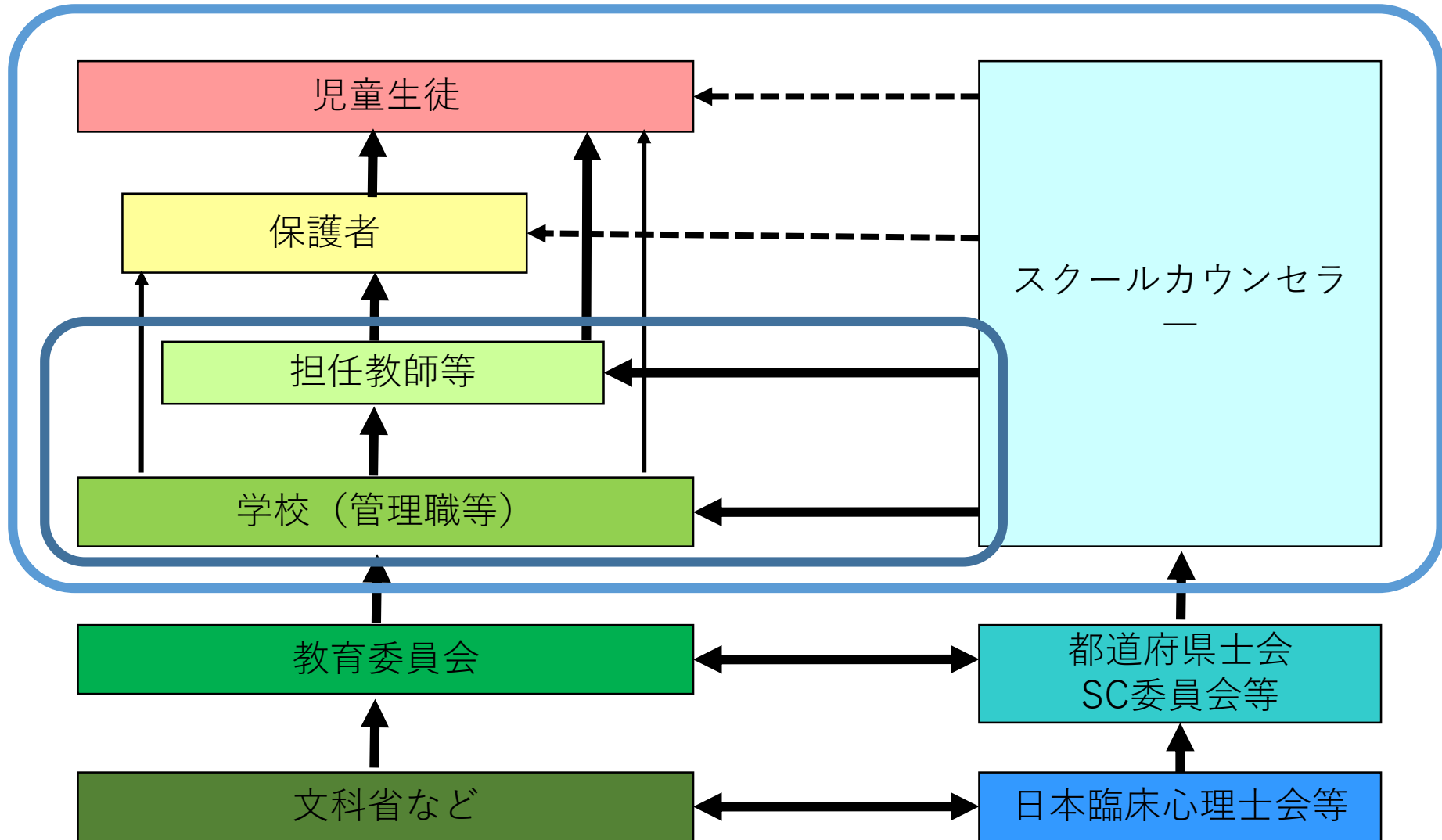
- ・窪田由紀
- ・石川悦子
- ・香野毅
- ・辻井正次
- ・吉村隆之
- ・小林哲郎
- ・緒方登士雄
- ・佐藤由佳利
- ・湯野貴子

## 災害、事件・事故後の子どもの心理支援研究会

- ・窪田由紀
- ・小林朋子
- ・樋渡孝徳
- ・富永良喜
- ・狐塚貴博
- ・山下陽平



# スクールカウンセラーによる様々な対象への支援の枠組み



# 休校期間中の児童生徒に対して



## • 直接的な支援～ほとんど困難

- (学校に出向いての) 対面カウンセリング, 電話
- (条件が整えば) オンラインカウンセリング

## • 学校, 教師を通しての間接的な支援

- スクールカウンセラー通信による啓発
  - ストレスマネジメント、新型コロナ対応など
- (担任教諭等を通しての) 特定の児童生徒への声かけ



# 休校期間中の保護者に対して



## • 直接的な支援～ほとんど困難

- (学校に出向いての) 対面カウンセリング, 電話
- (条件が整えば) オンラインカウンセリング

## • 学校, 教師を通しての間接的な支援

- スクールカウンセラーたよりによる啓発
  - 新型コロナ対応、児童生徒への関わり方など
- (担任教諭等を通しての) 特定の保護者への声かけ



# 休校期間中の学校・教師に対して

## • 休校期間中，登校再開に向けての児童生徒，保護者支援に向けての支援



- 学年初めの児童生徒、保護者との関係作りの支援
- 児童生徒（保護者）のアセスメントの視点の提供
- 特定の児童生徒の理解と支援に関する助言

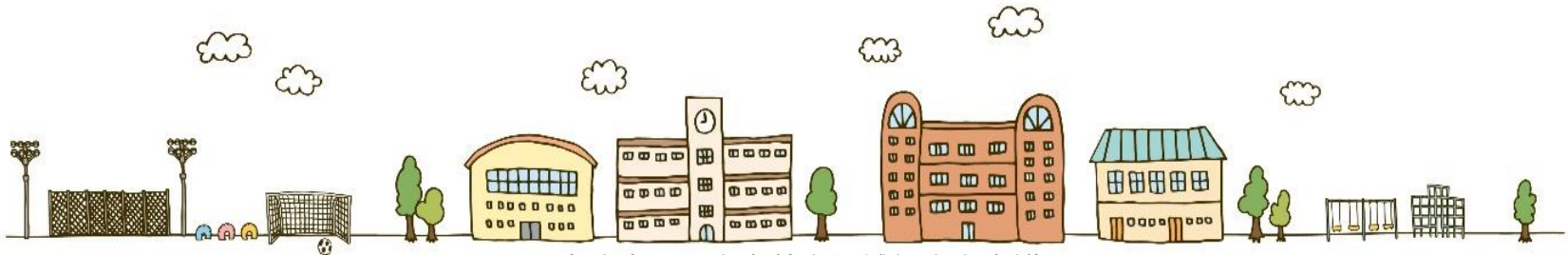
## • 情報や資料・教材の提供

- 新型コロナ対応に関する啓発資料（一般的知識、児童生徒への啓発）
- 新型コロナ対応に関する心理教育教材






# 休校期間中の学校・教師への支援

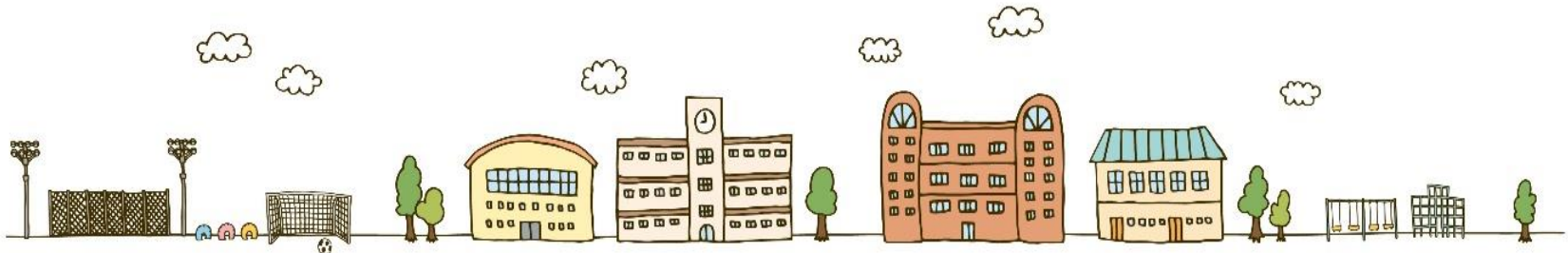


日本臨床心理士会教育領域担当者会議



# まずは、学校全体の状況把握

- 教師の出勤状況（←教育委員会の方針）
- SCの出勤/学校との連絡状況 
  - 在宅勤務
  - 自宅待機
  - 必要に応じて出勤 ??
  - 電話
  - メール ???
- 休校期間中の教育の実施状況
  - 課題配布
  - 動画配信
  - オンライン授業 ??
- 学校から家庭への連絡方法
  - 電話
  - ホームページ
  - 一斉メール
  - 双方向メール
  - ライン ??







# 学年初め/更なる休校延長に際しての 児童生徒、保護者との関係作りの支 援

- 参考：新型コロナウイルス感染症対策のために小学校、中学校、高等学校等において臨時休業を行う場合の学習の保障等について（通知） 4月21日
- [https://www.mext.go.jp/content/20200421-mxt\\_kouhou01-000004520\\_6.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200421-mxt_kouhou01-000004520_6.pdf)

## ②児童生徒の心身の状況の把握と心のケア等に関すること

学級担任等を中心として、電話等を通じ、臨時休業に伴い自宅で過ごす児童生徒及びその保護者との連絡を密にし、休校期間中において必ず定期的に児童生徒の心身の健康状態を把握すること

（概ね2週間に1回程度）。その際、保護者だけではなく、児童生徒本人とも直接電話等で会話するなどして、児童生徒の状況を的確に把握すること。

実態はさまざま

学習面に偏った連絡？



# 学年初め/更なる休校延長に際しての 児童生徒、保護者との関係作りの支 援

## ・担任向け休校中の子ども支援チェックシート

- ・休校延長となった現時点での担任からの改めての  
声かけ→学校との繋がりへの再認識・安心感
- ・地域や学校の状況に応じた2つのステップでの子  
どもや保護者との関係づくり
  - ・STEP1：教師から保護者、児童生徒への声かけ  
生活の様子を尋ねることを通しての関係作  
り
  - ・STEP2：（関係づくりの上で）保護者や児童生徒の困  
り事やす





# STEP 1 : 子どもや保護者との関係づくりを進めていきましょう

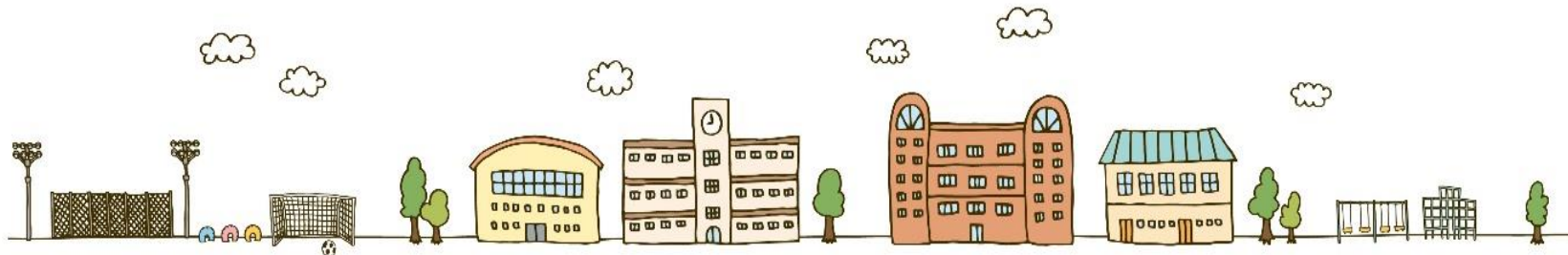
話をしているときは、会話の内容だけでなく、子どもや保護者の口調や後ろから聞こえてくる音などにも注意するとよいでしょう。



保護者

一部例示

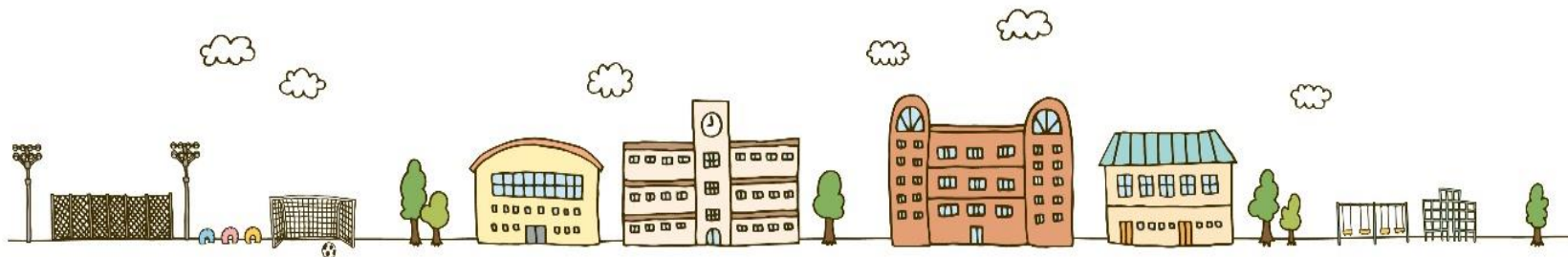
✓	項目
	家庭での過ごし方（例：おうちでの様子はいかがですか？）
	就寝時間と起床時間（例：生活リズムはどんな感じですか？）
	睡眠（例：寝つきは良いですか、途中で起きたりしてませんか、朝すっきり起きていますか？）
	食事（例：3食食べていますか、量はこれまでと比べてどうですか？）
	様子の変化（例：以前の様子と変わったことはありませんか？）
	心配な点（例：何か気になる点がありますか？）





# 情報や資料・教材の提供のために

## ～SCのための各種啓発資料活用ガイド～





# SC自身・教師自身の理解を深めるために

## ・新型コロナウイルス下の心理社会的支援の基本

- ・ IASC, 新型コロナウイルス流行時の心のケア：  
ブリーフィングノート（暫定版）、March 2020  
「[新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行時の心のケア Version 1.5](#)」日本語版
- ・ IASC, Interim Guidance for COVID-19  
Prevention and Control in Schools, March  
2020

（日本語サマリーは日本ユニセフ協会HPにあります）



・ [日本赤十字社のWebページ](#)  
日本臨床心理士会教育領域担当者会議



# Briefing note on addressing mental health and psychosocial aspects of COVID-19 Outbreak- Version 1.1



**IASC**  
Inter-Agency Standing Committee  
IASC Reference group for Mental Health and  
Psychosocial Support in Emergency Settings

This is version 1.1 of this document (P)  
Contact the IASC MHPSS Reference

**IASC** Inter-Agency  
Standing Committee

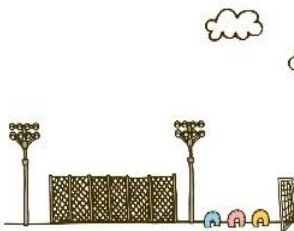
ブリーフィング・ノート  
(暫定版)

新型コロナウイルス  
流行時のこころのケア

Version 1.5

2020年3月

緊急時のメンタルヘルスと心理社会的サポート  
(MHPSS) に関する機関間常設委員会 (IASC)  
リファレンス・グループ



GUIDANCE FOR COVID-19  
PREVENTION AND CONTROL  
IN SCHOOLS

March 2020

unicef

World Health  
Organization

**ICRC**



日本臨床心理士会教育領域担当者会議



# SC自身・教師自身の理解を深めるために

## ・IASCガイドライン（2020）における強調

感染症による危機対応において、メンタルヘルスや心理社会的な配慮を必ず含まなければならない。

- ・メンタルヘルスや心理社会的な事柄について理解し取り組むことは、伝染を抑止し、その集団の健康および困難な出来事への対処能力に、長期間影響を与えるようなリスクを防ぐ鍵となる。
- ・新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報がすぐに利用できるようにし、そうした情報には、感染予防のための科学的根拠に基づいた情報と共に、心理社会的な健康を増進するようなメッセージを含む必要がある。





# SC自身・教師自身の理解を深めるために

## ・IASCガイドライン（2020）内容の概要

- ・新型コロナウイルス感染症に対する心理社会的反応とはどのようなものか（パンデミックに特有のストレス、および心理社会的リスク）
- ・感染流行地域において、心理社会的支援活動に含まれるべきもの（ノーマライゼーション、回復力の強化に役立つ活動、PFAなど）
- ・特定のリスクを持った人々への支援活動の推奨内容（高齢者、子ども、障害を持つ人々、医療従事者とその家族など）







# SC自身・教師自身の理解を深めるために

- 安全な学校運営のための行動指針から子どもたちのメンタルヘルス、心理社会的ニーズへの対応

IASC, Interim Guidance For COVID-19 Prevention and Control in Schools, March, 2020 (日本ユニセフ協会HP参照)

<https://www.unicef.or.jp/news/2020/0042.html>

- 学校の先生方が子どもたちに対してできること
  - 子どもたちが心配や疑問について話し合えるようにする
  - 色々な反応があっても当然であることを伝える
  - もし何か心配や疑問があればいつでも先生たちに話して良いことを伝える
  - 率直に、そして年齢にあった方法で情報を伝える
  - 生徒同士でどのように支えあえるかを教え、差別やいじめを防止するようにする



# SC自身・教師自身の理解を深めるために

## ・安全な学校運営のための行動指針から

### ・親や保護者が子どもに対してできること


- ・子どもたちの声に積極的に耳を傾け、理解する態度を奨励しましょう。子どもたちは、いつも以上に大人からの関心と愛情を必要としています。
- ・子どもたちは、不安な状況に様々な反応をしますが、通常、安全で支えのある環境の中で、不安な気持ちを表現したり、やりとりしたりすることができれば、安心感を得ます。感情表現を見守りましょう
- ・大人たちが冷静に落ち着いた態度でいることが子どもに安心を与えます。
- ・子どもの日課、遊ぶこと、リラックスすること、学ぶことなどの日常が子どもの回復力を助けます。
- ・子どもの発達段階に合わせて、大人が今の状況を説明し、子どもの意見や考えを表現できるようにしましょう。

\*これらは、学校、家庭での心のケアを伝える内容の参考となる。



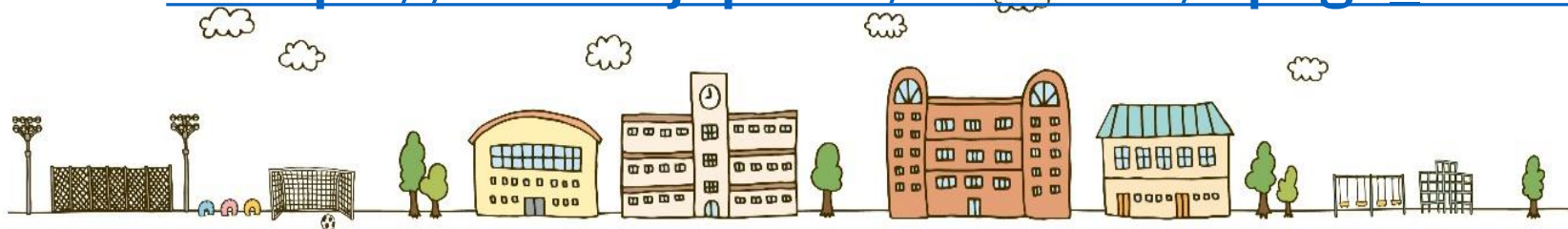
# 保護者の支援のために

## • 保護者対象啓発資料

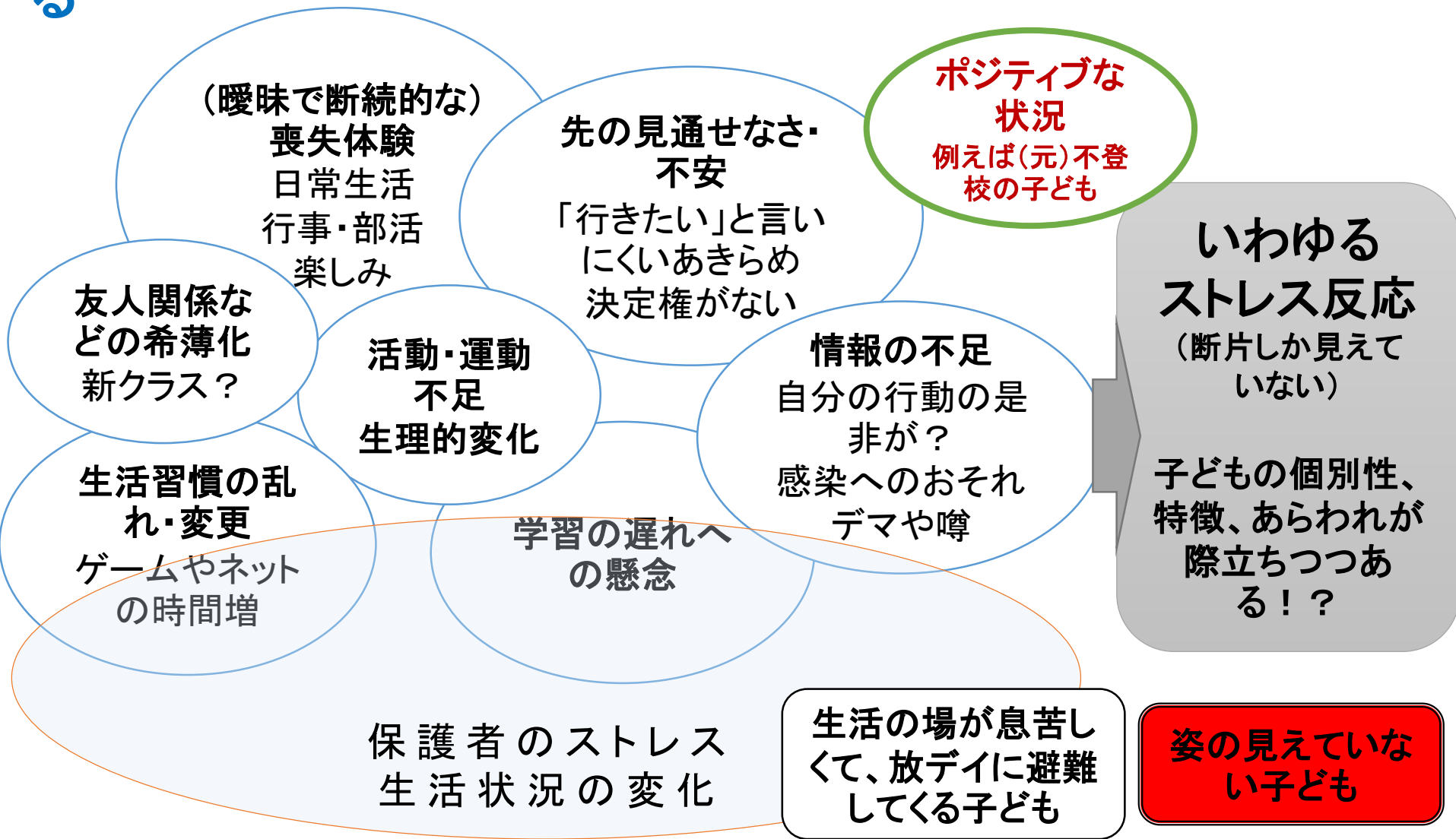
- 北海道臨床心理士会教育領域員会作成資料   
← 休校開始直後に作成・提供
- 安全な学校運営のための行動指針から（IASCガイドラインfor School 前掲資料）
- 新型コロナウイルスについて子どもに話す  
（NASP→日本学校心理学会）

\* 心理臨床学会新型コロナウイルス対応に関する情報  
→（イ）保護者の皆様へ

[https://www.ajcp.info/heart311/?page\\_id=4243](https://www.ajcp.info/heart311/?page_id=4243)



# 児童生徒の支援のために 児童生徒の実態を知る



・セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン「子どもの声・気持ちをきかせてください！」緊急子どもアンケート結果 (2020.3.27速報)

日本臨床心理士会教育領域担当者会議

・放課後デイサービスの子ども・保護者・スタッフへの聞き取り から



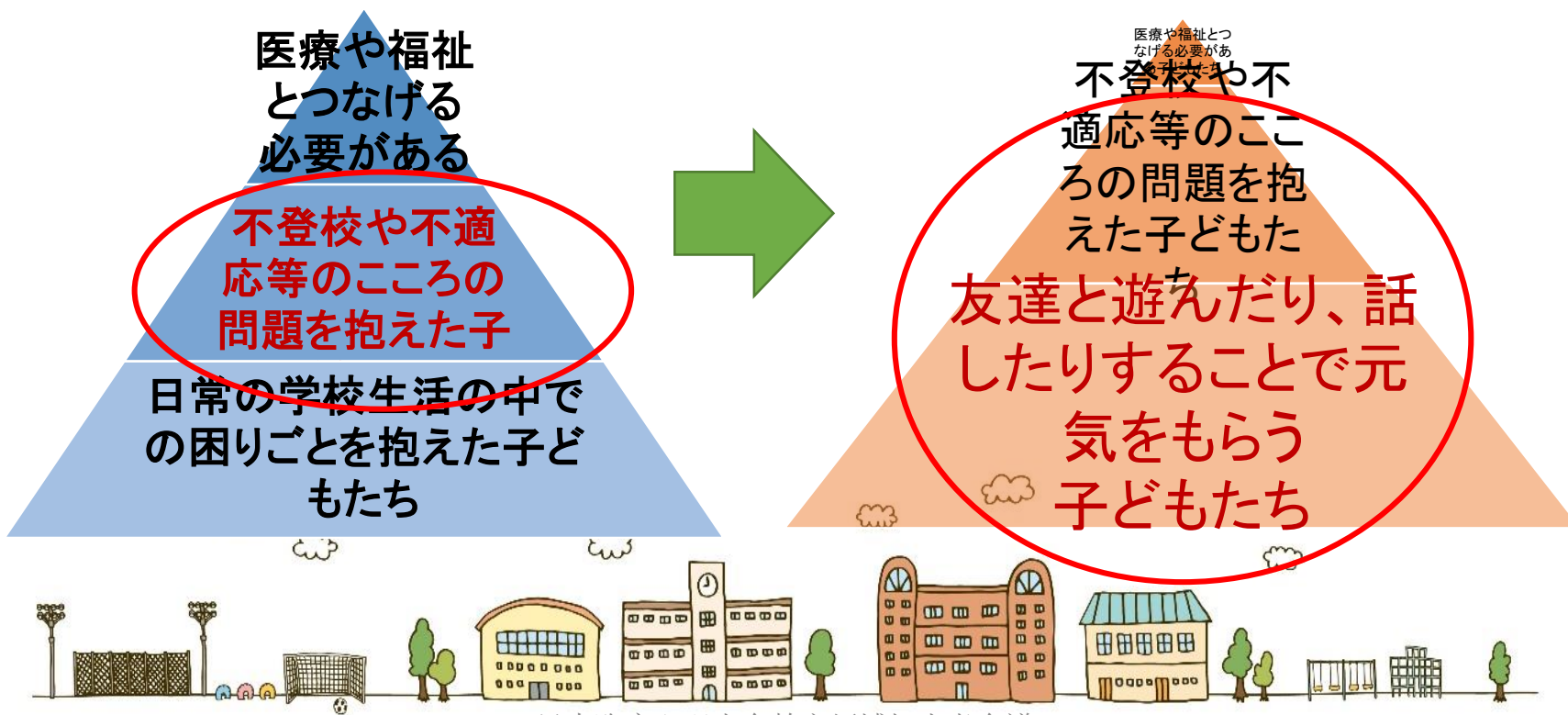
# 児童生徒の支援のために

## SCのターゲットを拡げる！



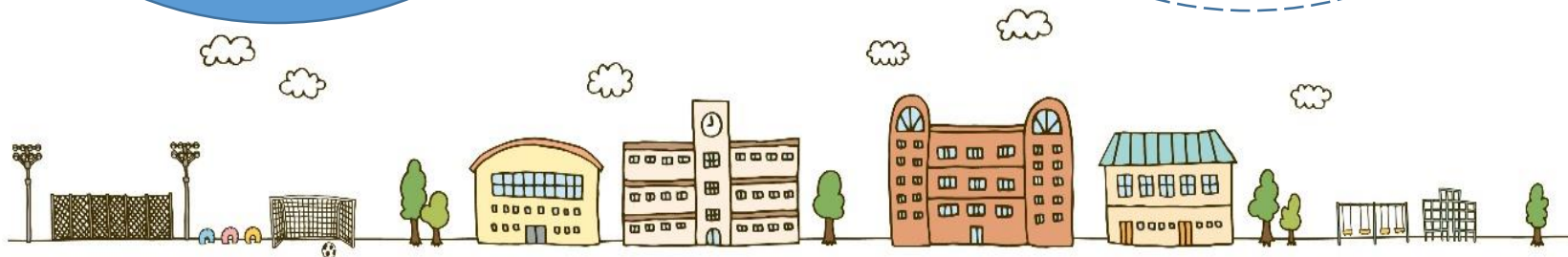
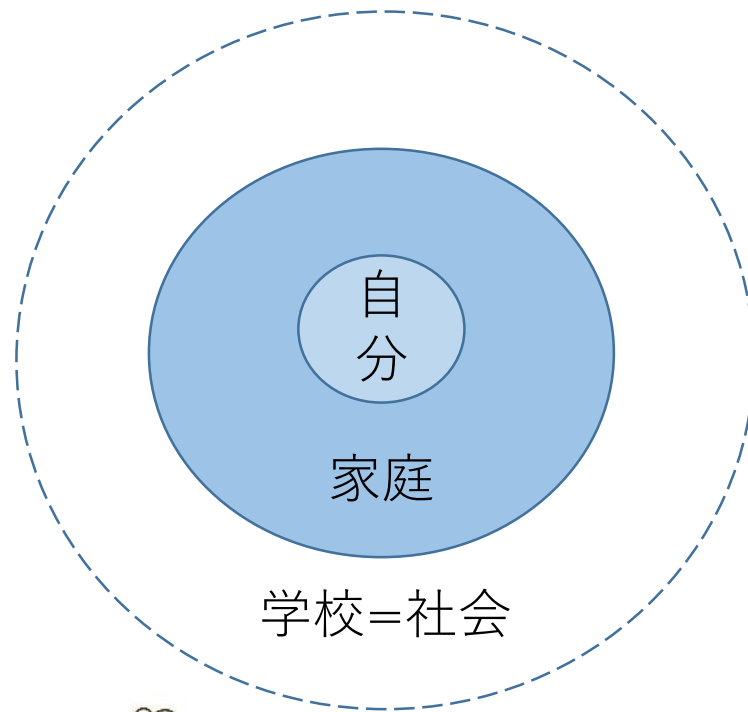
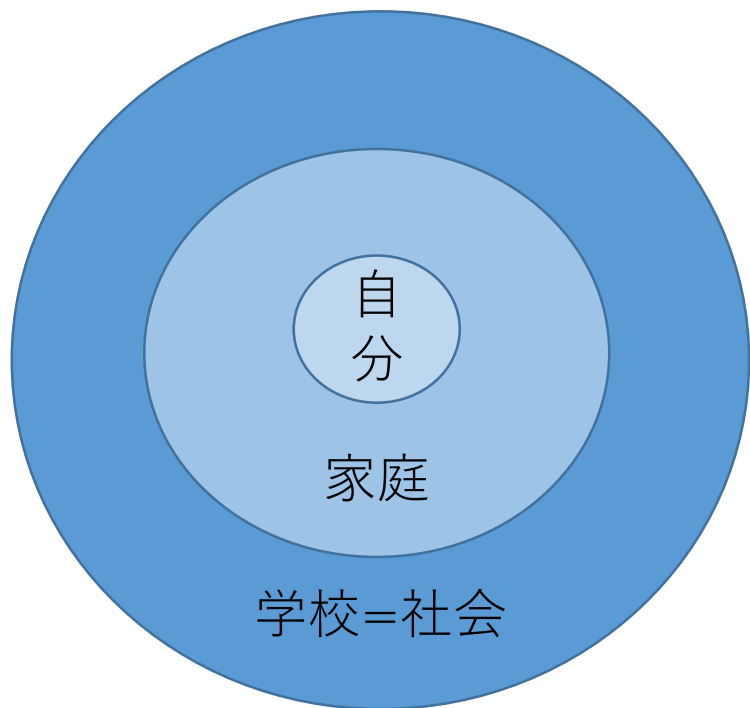
### 平時のSCのターゲット

### 休校・自粛下にある状態下でのSCのターゲット





# 家庭での支援





# 児童生徒の支援のために

## • 小学生対象

- レジリン通信 レジリエンスの科学的知見に基づいて作成された資料 すでに北海道から長崎県までの多くの学校で活用
- 健康戦士コロタイジャー エビデンスに基づいた子ども向けの動画コンテンツ（思いやり、メタ認知などもテーマに）

## • 中高生対象

- 教材 新型コロナウイルスを知って対処を学ぼう  
健康アンケートと連絡ノート（紙版・

Googleフォーム版）





- 今回提示した資料は、いずれも例示です。
- 申し上げるまでもありませんが、それぞれの実情に応じて、アレンジしてお使いください。
- このほか、直接SC向けでなくても、参考になる資料を多く掲載しておりますのでそちらもご活用ください。

- 心理臨床学会新型コロナウイルス対応に関する情報

- <https://www.ajcp.info/heart311/>

